



みまっば子育て通信 第12号

2024年7月31日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

親子ひろば「めばえ」

今年度、第1回目の親子ひろば「めばえ」です。0～2歳の子ども達と保護者の方にゆったりと過ごしていただく少人数制のひろばです。感染予防対策を行いながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しております。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

7月31日(水)10:00～11:00
(受付は9:30～)

美作大学 多目的ホール(本館2F)

「みんなで育ち合う、子育て」

- 10:00～10:15 自己紹介・手遊び
- 10:15～10:45 木の玩具やおままごと、ダンボールハウスなど楽しい玩具コーナーで遊ぼう！
- 10:45～11:00 学生によるお楽しみ

美作大学児童学科の教員2名が常駐し、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもや子育てに関する相談に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

次回「めばえ」開催予定月
2024年10月

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

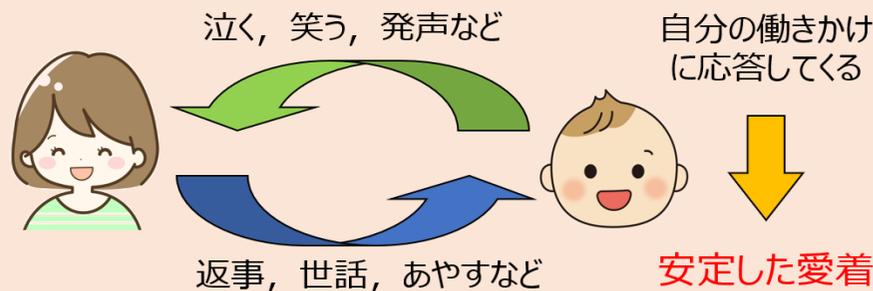
*このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

乳児は、不快・不安な状況になると、特定の対象に近づき、そしてその対象との関係を維持しようとします。こうした心の状態は「アタッチメント(愛着)」と定義されています(Bowlby, 1969)。

言葉による伝達はまだできない乳児は、(1)定位行動(注視, 後追い, 接近など), (2)発信行動(泣き, 微笑, 発声など), (3)接近行動(よじ登り, 抱きつき, しがみつなど)といったアタッチメント行動を示します。親は、子どものこうした働きかけによって養育行動が喚起されます。例えば、泣いたら抱き上げ、声を出したら応答し、安心して遊べる環境を提供し、不安なときや感情が崩れたときに「もう大丈夫」と慰めるなど、日常のやり取りの中で親も子どもも変化し、アタッチメントが形成されていきます。

アタッチメントの形成は、子どもの将来的な対人関係や社会的スキルの獲得、学習意欲、精神的健康など、多岐にわたる側面に影響し、乳児期において特に重要な課題となります。

子どもが何かあったときに確実に戻れる「安全基地」としての役割を果たし、子どもの外界への探索を支えましょう。



美作大学生生活科学部児童学科
講師 閻 琳

2024年1月30日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2024年7月31日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



今回は、短期大学部幼児教育学科の学生が、0歳～2歳児の子ども達の発達に応じたおままごとコーナー、製作コーナー、自動車や車で遊ぶコーナー、体を動かすコーナーなどを準備してお迎えしました。子ども達それぞれが、保護者の方や学生に見守られながら、自分で決めた遊びを意欲的に自由に遊ぶ姿がみられました。

・毎回とても楽しみにしています。最初は人見知りをしていましたが、たくさん玩具があって広いので、いつの間にか大学生と一緒に遊んでいて驚きました。



保護者の声



・就職前にこのような経験ができて、具体的な遊びとなりました。保護者の方に見守られるそばで、子ども達が安心して自分の意思で遊びを決めて行動する過程を観察させて頂きました。



学生の声

たっぷり自由に遊んだ後は、子どもたちと保護者間で用いられるわらべうたや、オーガンジーの布を使用したうたあそび、季節の童謡、ペーパークラフトを学生が紹介しました。古くから歌い継がれてきたうたなどを保護者の方も一緒に歌って下さり、和やかな雰囲気となりました。